

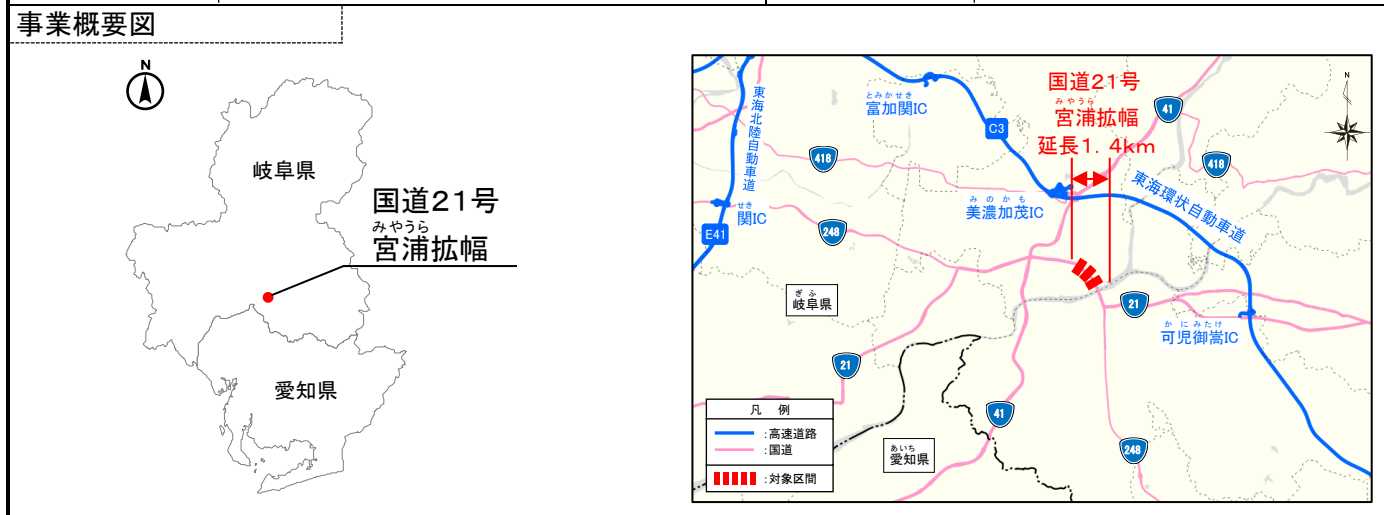
# 新規事業採択時評価結果(令和8年度新規事業化箇所)

担当課： 道路局 国道・技術課

担当課長名： 西川 昌宏

## 事業の概要

事業名	一般国道21号宮浦拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：岐阜県美濃加茂市御門町 至：岐阜県美濃加茂市田島町	延長	1.4km		
事業概要					
一般国道21号は、岐阜県瑞浪市から滋賀県米原市に至る延長97kmの主要幹線道路である。このうち、国道21号宮浦拡幅は、岐阜県美濃加茂市御門町から岐阜県美濃加茂市田島町に至る延長1.4kmの拡幅事業である。					
事業の目的、必要性					
当事業の整備により、国道21号の交通容量が確保され、交通渋滞が緩和し、円滑な交通を確保し、沿線地域の産業、日常生活を支援する。また、バイパス機能の強化により、市街地への通過交通の抜け道利用を抑制し、市街地の交通環境を改善することを目的とする。					
全体事業費	約 170 億円	計画交通量	約 25,400 台/日		



## 関係する地方公共団体等の意見

### 【岐阜県知事】

国道21号は可児市、美濃加茂市、坂祝町を横断し、国道41号及び国道248号、さらには東海環状自動車道と一体となって広域道路網を形成する重要な道路です。

このうち、可児市内の住吉南交差点から坂祝町内の大針ICまでの区間は、平日、休日を問わず慢性的に渋滞が発生し、複数の交差点が主要渋滞箇所を選定されています。また、当該地域は多治見市等の東濃地域と、岐阜市、関市等を繋ぐ交通の要衝でもあり、慢性的な渋滞は県内各地への移動に大きな支障となっています。

つきましては、観光振興、経済活動の促進及び県民生活の質向上に大きく寄与する当該地区の主要渋滞箇所の早期解消を図るため、一般国道21号 宮浦拡幅の新規事業化及び事業推進を強く希望します。本県といたしましては、当該区間の事業推進に必要な道路事業予算の確保はもとより、県内の直轄道路事業負担金の予算確保に努め、残土受け入れ地の確保や美濃加茂市、可児市、坂祝町と連携した地元調整や関係者協議に最大限の協力を行います。さらには、整備効果を一層向上させるため、当該区間に接続する国道248号における4車線化を推進してまいります。

今後も、県内の道路行政の推進と諸課題の解決に向け、国とともに取り組んでまいりますので、令和8年度新規事業としての予算化と、早期完成に向けて特段のご配慮をお願いします。

## 学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

## 対応方針(採択理由)

宮浦拡幅の整備により、国道21号の交通容量が確保され、交通渋滞の緩和と円滑な交通の確保が図られ、沿線地域の産業活動や日常生活を支援するとともに、バイパス機能の強化による市街地の交通環境の改善効果が高く見込まれる。また、事業採択の前提条件を満たしており、本事業の新規事業化については妥当である。

事業評価結果(総合評価)

事業採択の前提条件	
<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施環境が整っている	

費用 便益分	(参考)	B/C	(参考)	EIRR	総費用	111億円	総便益	132億円	(参考)	感度分析	基準年
		[2%]	1.4	4.9%	事業費: 維持管理費:	108億円 3.2億円	走行時間短縮便益: 走行経費減少便益: 交通事故減少便益:	117億円 13億円 2.2億円			

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したものである。  
 ※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。( )内は社会的割引率の値

事業の影響	評価項目		評価	根拠
	自動車や歩行者へ	渋滞対策	◎	
社会全体への影響	事故対策	◎	・国道21号の適正な利用が図られることで、細街路の抜け道利用が減り、交通の安全性が向上。 【美濃加茂・可児市市街地の死傷事故件数】 現況:14件/年 ⇒ 整備後:13件/年(約7%減少)	
	歩行空間	○	・JR太多線北側への歩道橋新設に伴い、歩行者の利便性が向上。	
	住民生活	○	・当該区間含む国道21号は多車線道路で幅員が広く、可児市から中部国際医療センターへの救急搬送時の主経路として利用されている。しかしながら、当該区間は暫定2車線区間のため、救急搬送車両が一般車両を追越し走行する際の走行性・安定性が低い。 ・国道21号の交通渋滞が緩和することで、救急搬送にかかる所要時間が短縮。 ・車線拡幅により、救急搬送時の追越しがしやすくなることで、走行性・安定性が向上。 【可児市役所～中部国際医療センターの所要時間】現況:約18分 ⇒ 整備後:約16分(約2分減少) 【中部国際医療センターの15分圏人口カバー率】現況:約6.1万人 ⇒ 整備後:約6.5万人(約7%増加)	
	地域経済	◎	・美濃加茂市・可児市の製造品出荷額は岐阜県内で7位、3位と多く、産業が盛んな都市で、両都市の結びつきも強い。しかしながら、製品輸送等における速達性の確保が課題。 ・国道21号の通過にかかる時間が短縮されることで、地域の産業活動を支援。 【可児御嵩IC～中蜂屋工業団地の所要時間】現況:約24分 ⇒ 整備後:約22分(約2分減少)	
	災害	○	・国道21号は第1次緊急輸送道路に指定されており、災害直後の救助・救急・緊急物資の供給等を担う重要な道路である。しかしながら、当該区間は現在暫定2車線供用であるため、災害発生時、走行速度が低下するとともに復旧工事時に通行止又は片側交互通行が必要。 ・4車線化により、ネットワークの通行止めリスクを低減。	
環境	○	・宮浦拡幅の整備によって渋滞が緩和し、CO2排出量削減に貢献。 CO2排出削減量262t-CO <sub>2</sub> /年[CO2排出削減便益:0.30億円]		
地域社会	○	・美濃加茂市・可児市の人口は増加傾向で、両都市間の結びつきも非常に強い。しかしながら、製品輸送や通勤等において利用される国道21号は、朝・夕ピーク時を中心とした混雑が課題。 ・国道21号の交通渋滞が緩和することで、速達性が向上。 【可児市役所～中蜂屋工業団地の所要時間】現況:約22分 ⇒ 整備後:約20分(約2分減少)		

事業実施環境
・都市計画決定手続き完了(S49.10.25) ・美濃加茂市・可児市・坂祝町が国道21号大針IC～住吉南交差点区間における渋滞対策の早期事業化、特に宮浦高架橋の4車線事業化を要望 ・岐阜県道路交通渋滞対策推進協議会可茂エリアWGにおいて、特に交通課題がみられる新太田橋交差点について、「宮浦高架橋の4車線化」を優先対策箇所に位置づけ(R8.3.6)